

人材確保のためにも 転倒災害を防止しましょう！

令和7年に徳島労働基準監督署管内で発生した労働災害で、
転倒により67人もの方々が職場を平均で約40日休業しています。

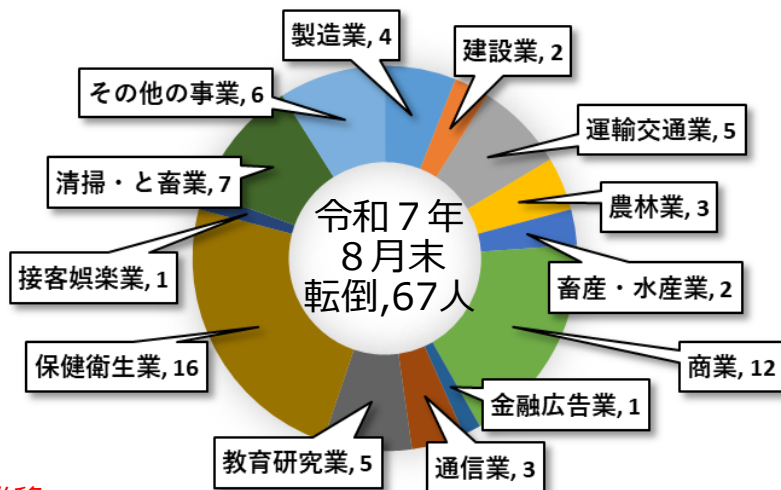
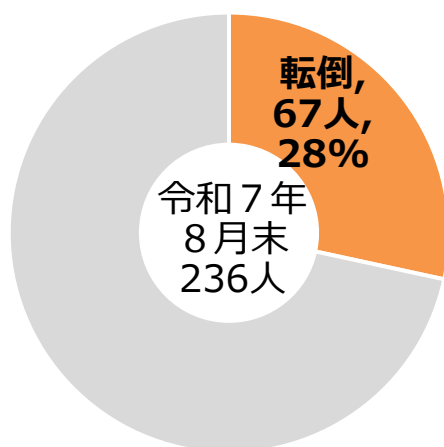
令和7年8月末現在における転倒災害発生状況

(図1) (事故の型別)

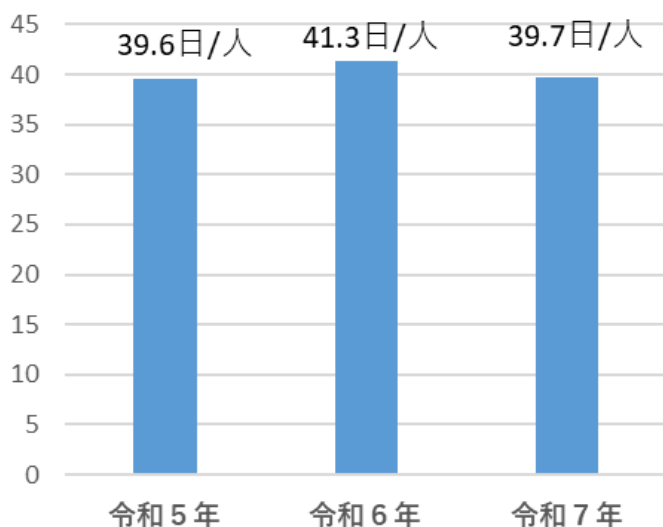
(労働者死傷病報告より)

(業種別)

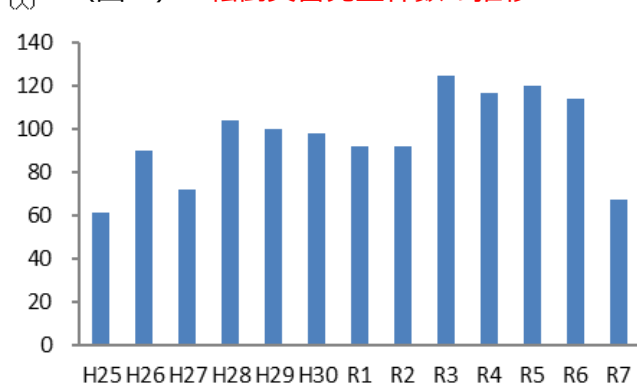
(図2) 数値は人数



(図3) 転倒による平均休業見込み日数の推移



(図4) 転倒災害発生件数の推移



※令和7年は8月末現在における数値

転倒災害は、事故の型別で最も多く発生(図1)しており、あらゆる業種において発生(図2)しています。

また転倒により平均で約40日も仕事を休まなければならない状況(図3)であり、人手不足がより深刻化するだけでなく、生産性を低下させることにもなります。人材確保が難しい昨今、転倒等による労働災害は、貴重な人材の損失に繋がり、会社の経営にも悪い影響を与えかねない問題です。

ついては、転倒災害のない働きやすい職場を作るため、裏面に記載の転倒災害防止対策を進め、ハード、ソフト両面から転倒災害の防止に努めましょう。



徳島労働基準監督署

転倒災害防止対策の方法は**ハード面の対策**と**ソフト面の対策**、両方の対策を取り組むことにより、その対策効果は高まります。

- ・ **ハード面の対策** ☞ 転倒災害を発生させる環境要因の解消など
- ・ **ソフト面の対策** ☞ 労働者の身体能力の低下解消、安全教育の実施など

ハード面の対策

☐ 通路・階段・出入口の4 S



☐ 転びにくい靴の選択

- ・ サイズ
- ・ 耐滑性
- ・ トウスプリング
(つま先が高い)



☐ 床の水・油汚れの除去



☐ 注意喚起標識の設置



ソフト面の対策

☐ ストレッチ体操等の体操・運動の実施

【例】転倒・腰痛予防！「いきいき健康体操」
(監修：松平浩)



☐ 体力測定等による転倒リスクの判定

【例】中央労働災害防止協会

「転びの予防 体力チェック」



☐ 転倒予防関係リーフレットの回覧等による労働者への取り組み周知

☐ 転倒災害防止の安全教育実施

その他の転倒災害防止に関するパンフレット等は、次のキーワードで検索してください。

転倒災害防止 厚生労働省

検索